

# 武士の登場.1

名前

解答

解答

- 問1 平安時代の10世紀ごろから、都や地方では戦いの技術に優れた人々が成長しはじめた。このような人々を何というか。 ( 武士 )
- 問2 武士は、一族や家族を従えて武士団をつくった。武士団の中でも有力だったのは、天皇の子孫である何氏と何氏か。 ( 平氏と源氏 )
- 問3 10世紀中ごろ、北関東で反乱を起こした人物は誰か。 ( 平将門 )
- 問4 10世紀中ごろ、瀬戸内地方で反乱を起こした人物は誰か。 ( 藤原純友 )
- 問5 11世紀後半に、東北地方の武士同士の争いをきっかけとして、大きな戦乱が起こった。この戦乱を何というか。 ( 前九年合戦・後三年合戦 )
- 問6 東北地方で平泉を拠点とし、力をもったのは誰か。 ( 奥州藤原氏 )
- 問7 12世紀前半に、瀬戸内海の海賊をしずめ、西日本に勢力を延ばしたのは源氏か平氏か。 ( 平氏 )
- 問8 11世紀頃から、武士は土地の開発を進めた。開発した土地は、皇族、貴族、寺社などの有力者に寄進した。これはなぜか。 ( 有力者が持ち主(領主)となることで、土地にかかる租税を逃れるため )
- 問9 土地の開発者は、領主に何を納めたか。 ( 年貢 )
- 問10 白河天皇は、自分の子孫を確実に天皇の位に就けるために、位を譲って何になったか。 ( 上皇 )
- 問11 鳥羽上皇の死後、天皇と上皇との対立や貴族の間の対立が激しくなり、1156年に保元の乱が起こった。保元の乱では、後白河天皇が勝利し、後白河天皇に味方した武士が勢力を延ばした。この武士を2人答えよ。 ( 平清盛と源義朝 )
- 問12 1159年に起こった争いで、問11の2人の武士が対立した争いを何というか。 ( 平治の乱 )
- 問13 保元の乱で、後白河天皇と争った上皇は誰か。次から選べ。 ( ①崇徳上皇 )
- ①崇徳上皇
- ②鳥羽上皇
- ③白河上皇

